



秋田市の 再生可能エネルギーについて

平成29年1月16日

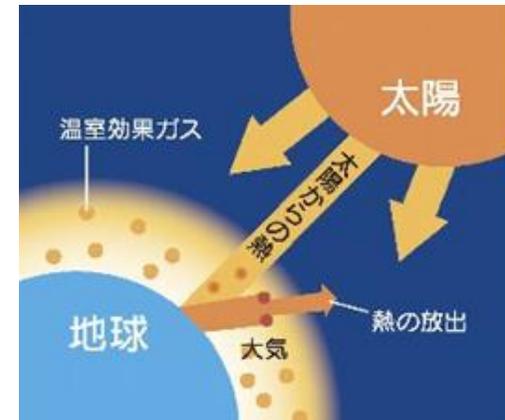
秋田市環境部環境総務課

新エネルギー担当課長 細井康広

1 地球温暖化について

(1) しくみ

- ・ 地球に照射している太陽エネルギーは、人類の消費エネルギーの1万倍
- ・ 一部は地表に吸収され、赤外線として大気に再放射される。
- ・ その赤外線が大気中の温室効果ガスを暖める。
- ・ 大気中の二酸化炭素量
(産業革命前280ppm→現在400ppm)



(2) 影響

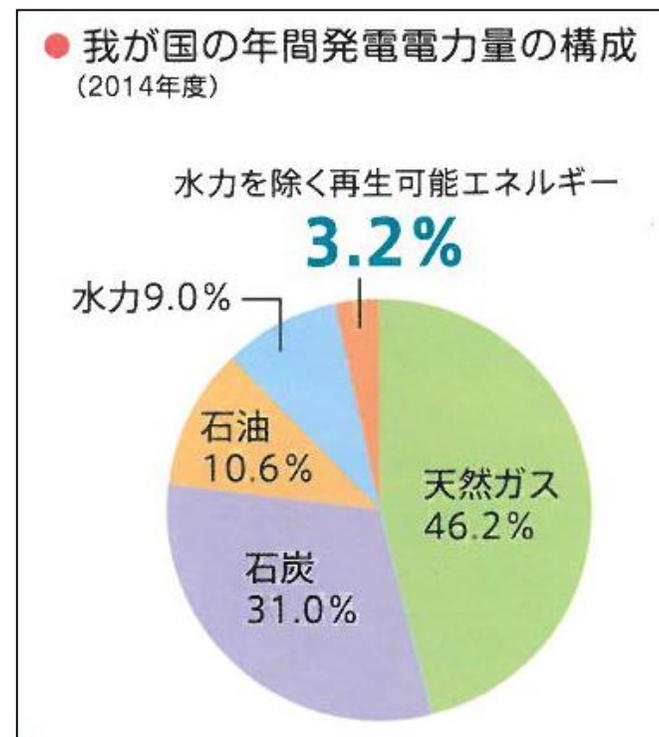
- ・ 海面上昇、異常気象、熱中症、食糧不足、サンゴの白化、感染症リスク

(3) 目標

- ・ 「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分に低く保つとともに、1.5°Cに抑える努力を追求する。」
- ・ (日本)温室効果ガス排出量を2030年までに2013年比で26%削減
(電力:省エネ17%、水力除く再エネ3.2%→14%、原子力1%→21%)

2 再生可能エネルギー推進の理由

- (1) 地球温暖化対策
 - ・ 現在の電源構成(約88%が化石燃料由来)
- (2) エネルギー自給率の向上
 - ・ 日本の自給率6%、94%を海外から輸入
 - ・ 輸入の半分が石油で、中東依存度は83%
- (3) 新たな産業の創出
 - ・ 発電技術の国際競争力
 - ・ 地産地消
- (4) 分散型エネルギー源
 - ・ 防災対策



秋田市の取組(1)

市有施設への導入

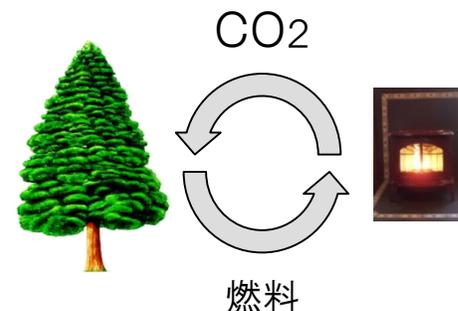
- 秋田市新庁舎（70kW太陽光発電、地中熱ヒートポンプ）
- 市内中学校等10施設（15kW太陽光発電・蓄電池、土崎中、泉中、西中、東中、城南中、河辺中、雄和中、御所野学院中、商業高、一つ森公園体育館）
- 老人福祉センター等5施設（木質ペレットボイラー）

導入支援事業

- 住宅用太陽光発電システム設置補助
- 木質ペレットボイラー、ペレットストーブ設置費補助

あきた次世代エネルギーパーク

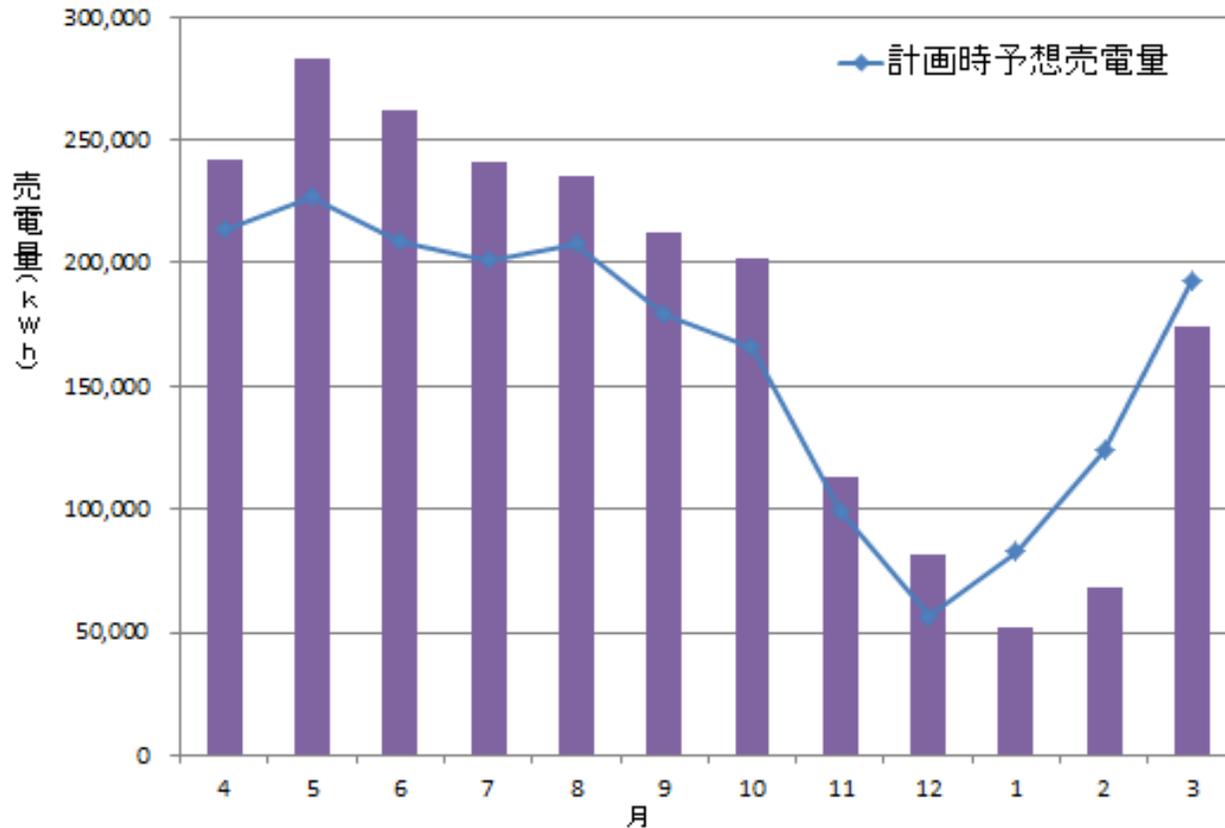
- 平成26年度に資源エネルギー庁から次世代エネルギーパークとして認定
- 秋田市内の多様な再生可能エネルギー施設を無料でご案内（太陽光発電、風力発電、バイオマス発電、地中熱ヒートポンプ、木質ペレット工場等）
- 事業者(24団体)が推進協議会を構成し、連携しながら事業を推進



秋田市の取組(2)

秋田市メガソーラー事業

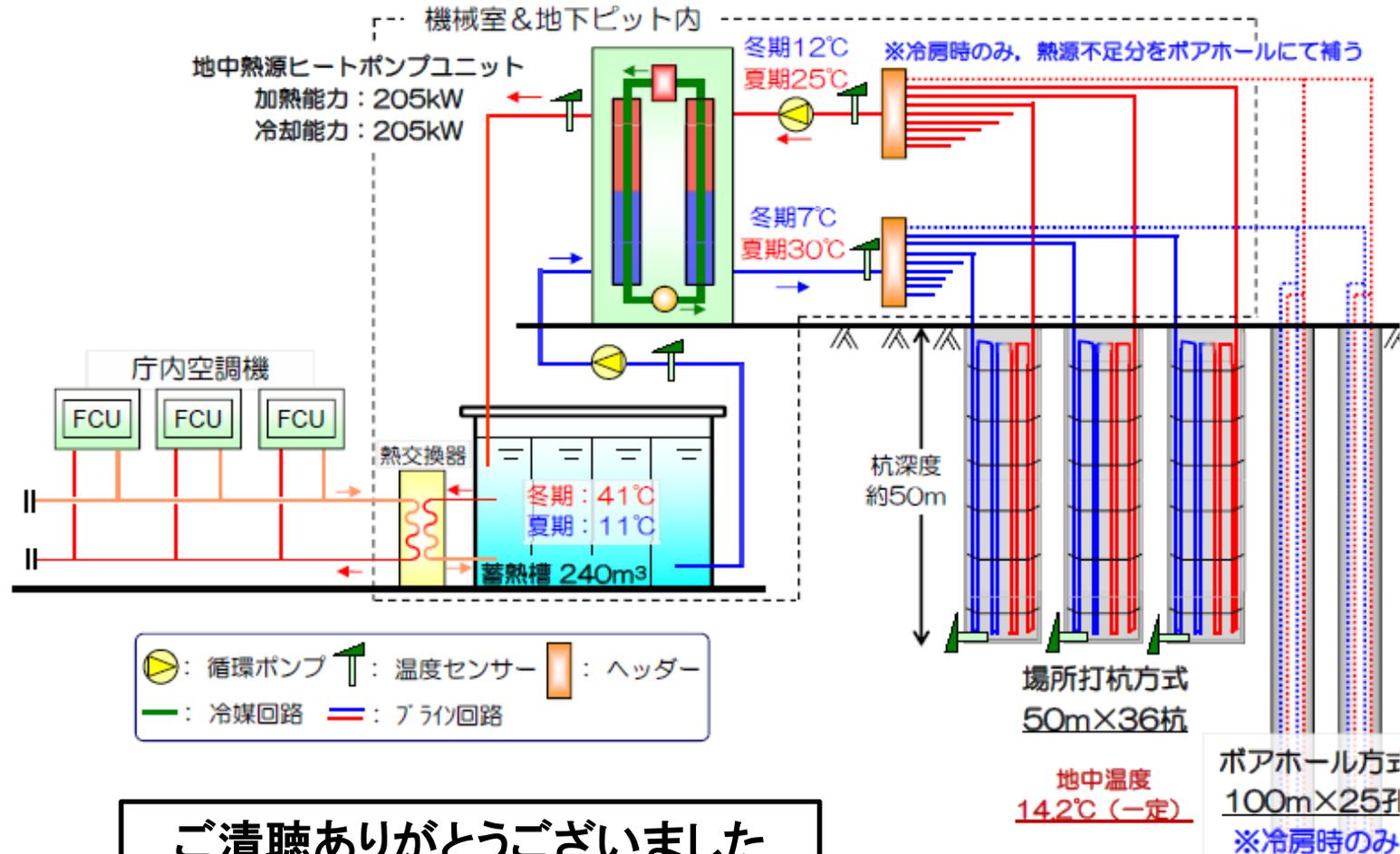
平成27年度 秋田市メガソーラー発電所 売電実績



- ・最終処分場の跡地利用
- ・発電出力 1,500kW (パワコン容量)
- ・パネル9,170枚 2,201kW
- ・包括的施設リース契約 20年
- ・リース料金 73,255千円(年平均)
- ・建設費 7億7,000万円

秋田市の取組(3)

秋田市庁舎 地中熱利用システムイメージ (冷暖房)



ご清聴ありがとうございました